

ふちゅう歴史散歩

Vol.148

備後国印の源流を求めて

史跡備後国府跡の解説パンフレット『備後国府発掘』の表紙には「備後国印」の文字を持つ大きな朱印があります【図1】。

これは諸国印と呼ばれるもので、奈良・平安時代に各国から都に送られる文書などに使用された印章のことです。古代の印章は、基本的に文字部分全てに捺すことになっており【図2】、この点は現代と異なっています。

さて、備後国印の印影は、ほかに『備後史談』第8巻第9号（昭和7年）、『福山市史』上巻（昭和38年）などで見られ、そこには「天平十一年大帳所捺」と注があります。しかし、現在この文書は所在不明で内容が確認できません。そこで備後国印の印影がどこまでさかのぼって確認できるのか、国立国会図書館所蔵の印譜（印影のコレクション集）を対象に調べた結果、安政4（1857）年の長谷川延年『博愛堂集古印譜』に収録されているものが最も古いようです。



【図1】『備後国府発掘』表紙
【図2】ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)より
【図3】NDLデジタルコレクションより

この注に「古摹本」とありますが【図3】、内容が確認できず、どの文書からの採録なのかは不明です。印譜は他の機関でも所蔵されており、調査を進めていけばより古い印影が見つかる可能性はあります。新しい発見があれば小欄で紹介したいと思います。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

「文化祭を終えて」 高校生編 その105



投稿者(文と写真)

府中高校3年
平田 愛菜さん

6月9日(金)、10日(土)に本校で第75回府中高校文化祭が行われました。今年は4年ぶりに一般公開をすることができました。念願の模擬店を行うこともでき、大変盛り上がりました。

私は、生徒会執行部の文化企画長として、今年度の文化祭を企画する中で、生徒から一般公開や模擬店をしたいという要望を多く受けていたので、実現することができ、達成感を得ることができました。

1年生は、初めての文化祭でしたが、モザイクアートやオブジェの制作をしました。どのクラスも個性的なものができました。

2・3年生は、模擬店とイベントを行いました。どのクラスも協力して運営していました。特に3年生は最高学年として良いものを創り上げなければならないというプレッシャーの中で団結して取り組んでいました。

今年の文化祭で最も印象に残っているのは閉会式です。文化祭が終わる寂しさよりも、やり切ったという嬉しさが各クラスに溢れた閉会式でした。

来年以降も、後輩たちが府中高校の文化祭をより良いものに創り上げ、学校を盛り上げてくれることを楽しみにしています。

府中市RCCラジオ番組「府中に夢中！」

毎週月曜日16:30~16:45(そのうちの5分間) RCCラジオ(1530KHz)

放送日	放送内容
8月7日(月)	子どもたちに大人気! カブト採集体験
8月14日(月)	夏祭りとお壁の街並みのコラボ「上下夏祭り」
8月21日(月)	マンホールスタンプラリー、備後府中焼きをご賞味あれ!
8月28日(月)	G7広島サミットでも使われた「阿字和紙」の魅力

公式SNS
LINE

公式SNS
facebook

スマホアプリ
radiko(ラジオ)

府中市メール
配信サービス

My府中

iPhone

Android